

図書館だより

令和6年度 8月 第95号



独立行政法人国立高等専門学校機構
都城工業高等専門学校
National Institute of Technology(KOSEN), Miyakonojo College

撮影地：都城市 神柱公園池
撮影者：抜木 和哉

目 次

「読書と私 2」	校 長 田村 隆弘	1
「LaTeX2 ϵ のすゝめ」	図 書 館 長 友安 一夫	4
「本から学んだこと、考えたこと」	一般科目理科 愛甲 将司	7
「新任教員挨拶」	一般科目文科 吉岡 佑馬	10
「「わからない」を楽しむ」	機 械 工 学 科 藤田 健太郎	12
「ブックハンティング」		14
「図書委員による、夏のオススメブックレビュー」		17
都城高専に長く勤められている先生からの寄稿 「サリンジャー作品との出会い」	一般科目文科 笹谷 浩一郎	20
「思い出の読書」	一般科目理科 武田 誠司	23
テーマ展示に関する寄稿 「本棚の紹介を「光る君へ」を絡めて」	一般科目文科 関 幹雄	25
教養講座のお知らせ 「教養講座の取り組みについて」	一般科目文科 松川 兼大	27
図書アンケート		30
図書館案内（開架書庫、閉架書庫、業務内容）		37
編集後記		40

読書と私 2

校長 田村 隆弘

今年も暑い夏がやって来ました。夏休みは部活や旅行でしょうか。まあ、たまには冷房の効いた部屋で読書というのも良いでしょう。

さて、昨年度に続いて二度目の寄稿です。推薦図書と依頼を受けましたが、以下、本のタイトルと著者(訳者)をいくつか挙げてみます。一人の著者に複数の本を挙げたものもあります。まず、最近の本では、

1. イェール大学集中講義 思考の穴 アン・ウーキョン著、花塚恵訳

認知心理学の先生が書いた本ですが、人間の行動原理を楽しく学ぶことができます。昔の小説では、

2. 三四郎 夏目漱石
3. 泥流地帯 三浦綾子
4. 心に太陽を持て 山本有三
5. 沈まぬ太陽、大地の子 山崎豊子
6. 竜馬がゆく、菜の花の沖、坂の上の雲 司馬遼太郎
7. 破船、破獄、熊嵐、戦艦武蔵 吉村昭
8. 永遠のゼロ、海賊と呼ばれた男 百田尚樹
9. 下町ロケット、空飛ぶタイヤ 池井戸潤
10. 村上海賊の娘 和田竜

といったところでしょうか。吉村昭の作品は迫力満点で夏にはもってこいです。

エッセイでは、

11. 井上ひさし ベスト・エッセイ
12. インドでわしも考えた 椎名誠
13. 木のいのち木のこころ 西岡常一 小川三夫



14. 敵は我にあり 野村克也
15. 大局観 羽生善治
16. 実践心得帖、道をひらく、指導者の条件 松下幸之助
17. ざっくばらん 本田宗一郎
18. 小さな人生論(シリーズ) 心に響く小さな5つの物語 藤尾秀昭
19. 置かれた場所で咲きなさい、目に見えないけれど大切なもの 渡辺和子
20. 生きかた上手、医学するところ 日野原重明
21. 座右のゲーテ 壁に突き当たったとき開く本 齋藤孝

こうしたエッセイは、内容的に勉強になったり、心を癒したりしてくれることもありますが、日本語の文章そのものが美しかったり力強かったりして、文章を書く力を養うのにも良いですね。

日本の社会規範や教育の原点を辿っていくと、孔子の思想を基本にした儒教や朱子学の影響を大きく受けていて、以下のような本からも著名な日本人が論語を読んでいることが感じられます。

22. 論語と算盤 渋沢栄一
23. 私の財産告白 本田静六
24. 小説 二宮金次郎 竜門冬二
25. 学問のすすめ 福沢諭吉
26. 論語新釈 宇野哲人
27. 一気に通読できる完訳「論語」佐久協
28. 超訳 易経 竹村亜希子
29. 孟子 全訳注 宇野精一
30. 講孟劄記 吉田松陰著 近藤啓吾全訳註

「論語と算盤」は、今回、1 万円札の顔が渋沢栄一になったことで有名になりました。最後の「孟子」と「講孟劄記」は、ここで紹介しようか迷いましたが、最近私が、2 冊並べてぼちぼち読んでいる本です。吉田松陰が「孟子」に書かれていることに対する私見を「講孟劄記」として纏めたものです。彼は 25 歳の時に野山獄で一緒に捕らえられていた人たちにこれを講義したとのこと。やはりすごい人物です。



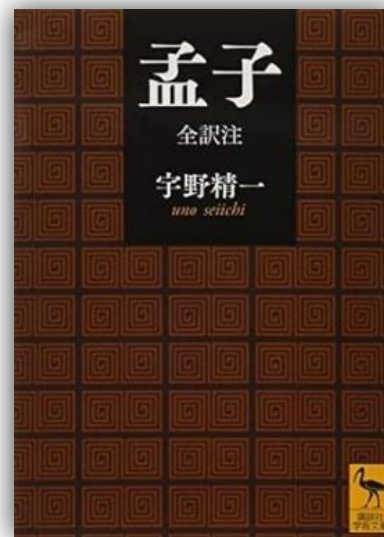
↑『イェール大学集中講義 思考の穴』
アン・ウーキョン著
花塚恵訳



↑『熊嵐』
吉村昭著



↑『インドでわしも考えた』
椎名誠著



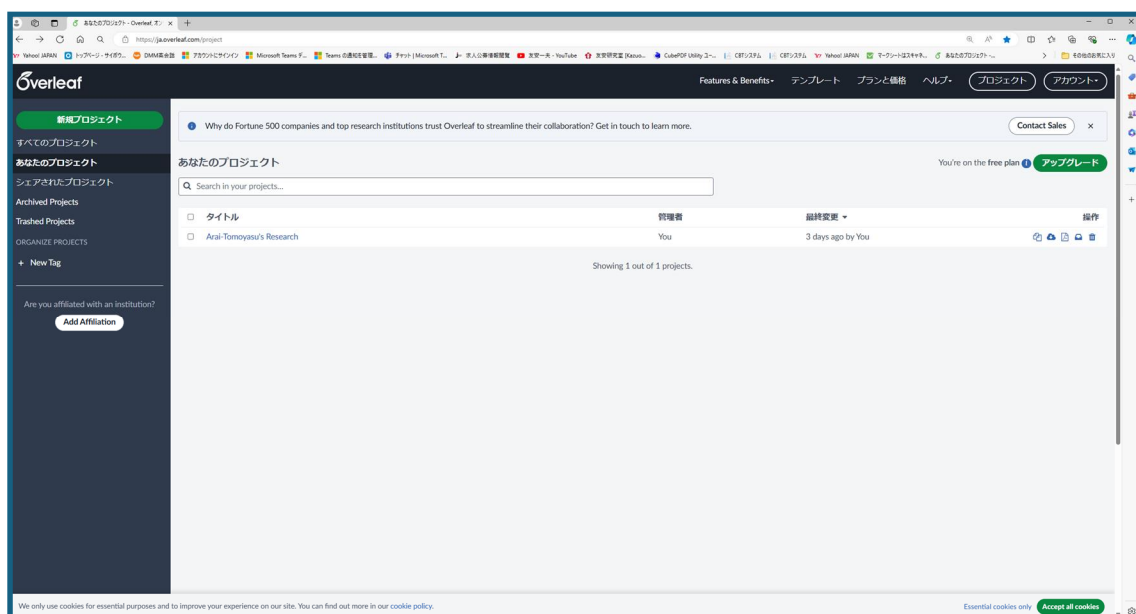
↑『孟子_全訳注』
宇野精一著

LaTeX2 ϵ のすゝめ

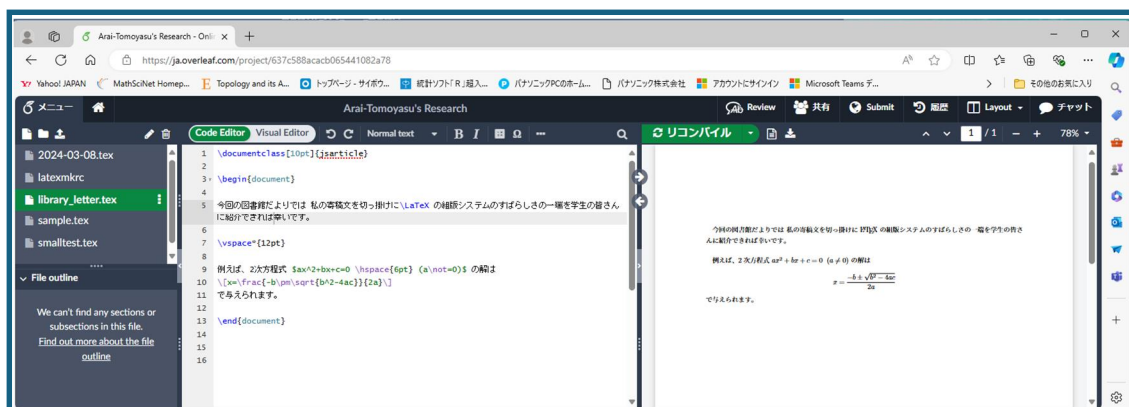
図書館長 友安一夫

図書館だよりの寄稿の題材を探るとき、ついつい文学作品から題材を選ぼうと思ってしまいますが、都城工業高等専門学校発行の「図書館だより」であることから今回は趣向を変えて解説記事を書かせてもらおうと思います。

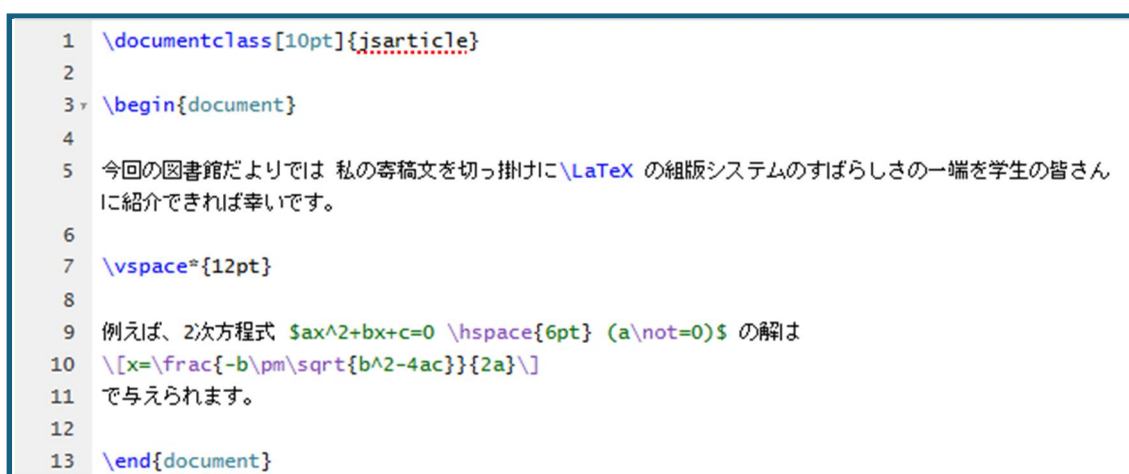
まずは少しでも昔話をしたいと思います。今から 9 年前の平成 27 年のことだったと思います。ある学生が「数学の先生が作られるプリントの数式は教科書のようによいですね」、と私に話しかけてきました。私は「おっ！いいところに気が付いたね。それは TeX (テフと読みます)」という数式に特化した組版ソフトを使ってプリントを作っているんだよ、という話をしたことを覚えています。TeX は理工学の分野で広く使われている数式に特化した組版ソフトですが、初めて TeX に触れたのは私の場合、大学院のときでした。学生の皆さんがよく使われるワープロソフトといえば、多分 Word でしょうか。Word は文書を作成しながら同時に印刷時の状態を確認できますが、TeX はそうではありません。TeX を聞いたことのない人にここで長々と解説しても TeX の有用性は伝わらないかと思いますので、まずはどんなものかを紹介したいと思います。TeX はフリーソフトウェアのため、インターネット上でダウンロードしてインストールするか、奥村晴彦先生の「LateX2 ϵ 美文書作成入門(技術評論社)」を購入して付録の DVDROM からインストールするか、はたまた Cloud LaTeX (本校からはセキュリティー等の事情によりアクセスできない)や Overleaf のサイトで Web ブラウザ経由で 사용할こともできます。例えば、Overleaf を使って TeX の雰囲気を実感してもらいましょう。まず、以下は Overleaf のアカウントを取得してサイトにログインした状態です。



「あなたのプロジェクト」にタイトルが表示されています。これが、作業フォルダです。このタイトルをクリックして作業フォルダの中に入ると、TeX ファイルがいくつか表示されます。library_letter.tex とあるファイルを開いてみると次のような画面が現れます。左がテキストエディター(=テキストを編集する作業環境)で右がプレビュー(=印刷時の表示を確認する画面)です。TeX の作業の流れとしては、左側のテキストエディターで入力して、緑色で表示されている「リコンパイル」をクリックすると Overleaf ではプレビューを表示してくれます。



左側のソースファイルを詳しく見てみましょう(バックスラッシュは ¥ 表記です)。



- 1 行目:ドキュメントクラスの指定(いろいろな指定方法があります)
- 3~13 行目:TeX の文書は ¥begin{document} ~¥end{document} の間に書きます。¥begin{document}で「文書が始まるよ!」、¥end{document}で「文書が終わるよ!」を意味します。
- 9 行目:数式は \$数式\$ というように \$~\$ で囲みます。¥hspace{6pt} は「水平(=水平右)方向に 6pt の空白を空けよ」という命令です。
- 10 行目:数式を中央に表示させたいときは ¥[数式¥] と書きます。分数を TeX で書く命令は ¥frac{分子}{分母}、根号記号は¥sqrt{数式}、±を表示させる命令は ¥pm となります。

上記のコンパイル結果が以下となります。ちなみに 5 行目にある $\LaTeX$ は、この命令により、下記のように $\LaTeX$ のロゴが表示されます。

今回の図書館だよりでは私の寄稿文を切っ掛けに $\LaTeX$ の組版システムのすばらしさの一端を学生の皆さんに紹介できれば幸いです。

例えば、2 次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ ($a \neq 0$) の解は

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

で与えられます。

$\TeX$ は高度な編集機能が備わっているため、行間を微妙に調整してくれます。このため、Word の原稿では見慣れた状況ですが、右端が(この原稿のように)デコボコすることはありません。 $\TeX$ は Word のようにリアルタイム処理でなくバッチ処理(=一括処理)を行う組版システムです。テキストエディターで入力したものがそのまま出力されるわけではなく、コンパイル後に編集内容がプレビューに表示されます。

さて、先に紹介した $\TeX$ に興味を持った学生ですが、私の数学の授業で作成したプリントの $\TeX$ ファイルをいくつかサンプルとしてあげました。その後、 $\TeX$ の使い勝手をその学生に聞いてみると、 $\TeX$ でかなり凝った組版をしてレポートや卒業論文を作成しているということでした。学生の吸収力はすごいなと感心した記憶が今でも蘇ります。

最後になりましたが、 $\TeX$ の基本は上に書いたぐらいの内容です。あとはいろいろなコマンド(=命令)があるので、自分が書きたい数式、文書や図表の配置を命令するコマンドをいくつか覚えれば誰でも $\TeX$ で美文書が作成できます。図書館にも $\LaTeX$ 関係の蔵書が数冊ありますので紹介しておきます。

[1] $\LaTeX$ 超入門：ゼロからはじめる理系の文書作成術

水谷正大著. -- 講談社, 2020. -- (ブルーバックス ; B-2145).

[2] $\LaTeX$ 組版ハンドブック

大友康寛著. -- 翔泳社, 2005.

個人所有の PC に $\TeX$ をインストールして使いたい場合は奥村晴彦先生がまとめられた以下の書籍付録の DVD によるインストールが簡単です。

[3] [改訂第 9 版] $\LaTeX$ 美文書作成入門

奥村 晴彦/黒木裕介著. -- 技術評論社, 2023.

レポートや卒業論文を $\LaTeX$ で作成されてみてはいかがでしょうか。大学に編入する人は編入先の大学でも重宝するかと思います。本稿が皆さんの知的好奇心を刺激できれば幸いです。

本から学んだこと、考えたこと



一般科目理科 愛甲将司

みなさん、こんにちは。本年度から着任した一般科目理科の愛甲将司です。専門が物理学なので物理の本を紹介しよう…と思ったのですが、専門家の常でお気に入りの本はオススメするには小難しい。かといって、急ごしらえで選んだ一般向けの本には思い入れがない。なので、専門外だけど思い出深い、サイモン・シンの「フェルマーの最終定理」という数学の本を紹介します。一般向けですが、歯応えがあり、噛めば噛むほど美味しい一冊で、中学生の時からくり返し読んできた大切な本です。

タイトルの“フェルマーの最終定理”とは、17世紀の数学者ピエール・ド・フェルマーが残した問題です。数学の難問ですが、内容はピタゴラスの定理（あるいは三平方の定理）が分かれば誰でも理解できます。

ピタゴラスの定理とは、「直角三角形の斜辺の二乗は、他の二辺の二乗の和に等しい」というものです。数式で書くと、

$$x^2 + y^2 = z^2$$

です。

たとえば、 $x = 3$, $y = 4$, $z = 5$ は上の式を満たします。

では、ピタゴラスの定理を少しだけ書き換えてみましょう。

$$x^3 + y^3 = z^3$$

もっと一般的に、

$$x^n + y^n = z^n \quad (n \text{ は } 3 \text{ 以上の自然数 : } n=3, 4, 5, \dots)$$

このとき、「上の式を満たす自然数の組は存在しない」という主張がフェルマーの最終定理です。フェルマーはこの主張を本の余白にメモとして残しました。余白には、以下のような言葉が続きます。「この定理に関して、私は真に驚くべき証明を見つけたが、余白が狭すぎるのでここに記すことはできない。」

多くの数学者たちがフェルマーの失われた証明を再現しようと試みました。

しかし、見かけの簡単さとは裏腹に、未解決のまま 300 年以上の時が経ちます。フェルマーは証明を残さなかったのが真相は藪の中ですが、彼の証明は完璧ではなかったのだろうというのが今日での見解です。この本は、10 歳の頃にフェルマーの最終定理に出会った数学者アンドリュー・ワイルズが、最先端の数学を駆使して最終的な証明を与え、幼き日の夢を叶えるまでの物語です。

この本の面白いところは、ワイルズを含む様々な数学者の生の声が記録されている点です。特に、証明の発表前後を巡るワイルズの回想はとてもドラマチックな面があります。1993 年、ワイルズは 8 年間におよぶ研究の成果を発表し、賞賛の嵐を受けました。しかし、その後、証明の一部に誤りがあることが判明します。栄光から一転、証明を修正する日々は苦悩に満ちたものでした。あらゆる試みは失敗に終わり、ついに彼は敗北を認める覚悟を固めます。しかし、絶望の淵で突如ひらめきが訪れ、証明の修正に成功するのです。

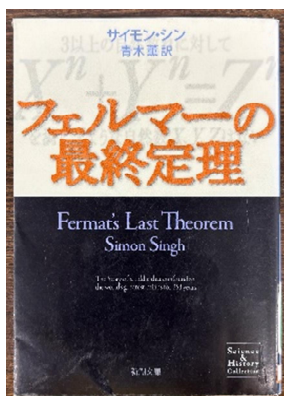
発明家トーマス・エジソンは「天才とは 1%のひらめきと 99%の努力である」という言葉を残しました。努力の大切さを説く際によく引用される言葉ですが、エジソンの真意は、「1%のひらめきがなければ、99%の努力は無駄である」だったとも言われています。努力が報われるか否かは、蓋を開けてみないと分からない。骨折り損のくたびれ儲けに終わる可能性もある、とはエジソンもずいぶん手厳しい。

では、どうせ無駄に終わるなら天才以外の凡人は努力しない方がいいのか。事前に成功が約束されていることだけ頑張るのが賢い生き方なのか。そもそも天才ってなんなのか。こういったことを学生の頃つらつらと考えていたのですが、ワイルズがもがき苦しんだ道のりを知って、少しずつ自分なりの考えがまとまってきました。キャッチコピーは短い方が良いですが、今ではエジソンの言葉をこう理解しています。「1%のひらめきがなければ、99%の努力は無駄である。しかし、99%の努力無しに 1%のひらめきは訪れない。ゆえに、人と違う何かを成し遂げたければ、努力するより他に道はない。」

どうにも説教臭い内容になってしまい恐縮ですが、この文章のテーマである「学生に伝えたいこと」というのは往々にして説教臭いものですから、ご容赦ください。ここまで読んでくれてありがとうございます。最後に、上の内容と関係して、ある天才の言葉を紹介して筆を置きたいと思います。

『何かに挑戦したら確実に報われるのであれば、誰でも必ず挑戦するだろう。報われないかもしれないところで、同じ情熱、気力、モチベーションをもって継続しているのは非常に大変なことであり、私は、それこそが才能だと思っている。』

(将棋棋士 羽生善治)



←『フェルマーの最終定理』
サイモン・シン著
青木薫訳
図書館配架場所：文庫
(18 - 19)

◆図書館長お勧め本◆



←『天才の栄光と挫折：数学者列伝』
藤原正彦著
図書館配架場所：専門・教養図書(書架番号 1~28)



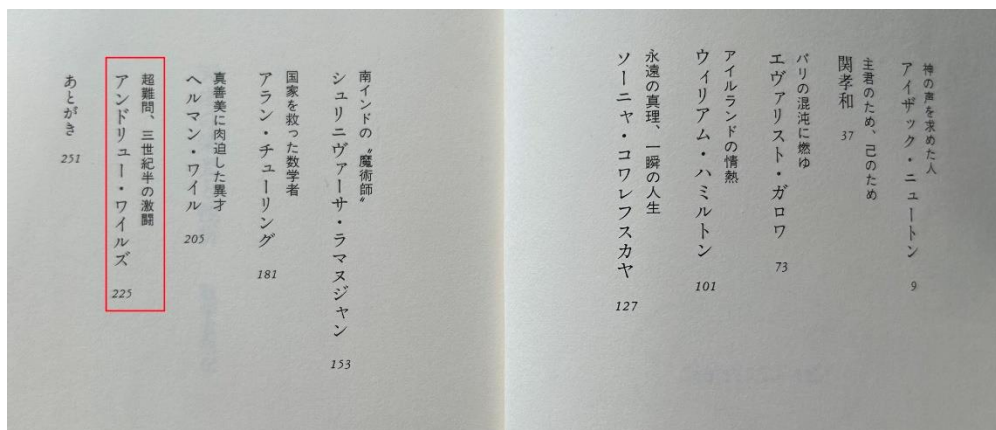
1993年6月23日、世紀の講演をまさに終えようとするワイルズ ("math Horizons" AMS, photograph courtesy of Princeton University)



談笑する志村五郎とヴェイユ (87年10月22日、Mozzochi "The Fermat Diary" AMS)



岩澤健吉 (1917~1998)



新任教員挨拶



一般科目文科 吉岡佑馬

都城高専の皆さま

本年度4月より一般科目文科に着任いたしました吉岡佑馬と申します。国語・文章表現法などの文系科目を担当しています。この度は『図書館だより』に寄稿する機会をいただきました。

さて、国語科の教員ということで、ここは〈腕の見せ所〉なのである。学生の皆さんに読書の魅力をお伝えしてみせましょう!!、と思っってはりきって筆をとりはじめたものの、ありきたりな魅力（幅広い知識と視野を培うことができる etc）しか思いつきませんでした……。というわけで、かっこつけることは諦め、自分が「これはおもしろい」と思った本を2冊紹介するという、シンプルな方法を取ろうと思います。もし、私の感想を見て読みたいと思う人がいれば幸甚（こうじん）です（かっこつけました）。

まず、一冊目として有川浩『阪急電車』をご紹介します。小説のタイトルとなっている阪急電車とは、京阪神を結ぶ私の大好きな私鉄です（乗り鉄）。マルーン色が特徴的でエレガントな電車です。『阪急電車』では、そんな電車に乗り合わせた人々の、始点終点・カーブ・上り・下り・途中停車・折り返しを（総じて人間ドラマ）描いています。「悪くないよね、この世界も！」と思わせてくれる暖かい作品です（p. s. 人生で初めての彼女も阪急電車沿線に住んでいたあの娘だったな……。泣）。

次に、二冊目として織田作之助『夫婦善哉』をご紹介します。織田作之助は大阪出身、戦前から戦後にかけて活躍した作家です。『夫婦善哉』は彼の代表作です。舞台は大正時代末期の大阪。ぼんぼん（今でいう社長の息子で跡取り）の柳吉は、芸者の蝶子と駆け落ち同然で一緒に暮らし始めますが、柳吉の放蕩

ぶりに蝶子はふりまわされます。「蝶子はん、あんた維康（柳吉）さんにだまされたはる」と言われても、惚れてしまったが運の尽き。「私の力で柳吉を一人前にしてみせまっさかい」と決心するのです。「一人より女^め夫^{おと}の方がええいうことでっしゃろ」と蝶子が柳吉を見捨てることはありませんでした。

この話を見るといつも父方の祖母を思い出します。父方の祖父もこれまた仕事嫌いの道楽もので、シラフでは寡黙な男だったようですが、酒を飲むと人が変わり、どうにもならない人だったようです。そんな祖父にふりまわされながらも、見捨てず面倒を見ていたのが祖母でした。ある時、例のごとく酒に酔った祖父がヤクザに喧嘩をふっかけ、殴られたことがあったそうです。そんな時にも祖母はヤクザの事務所に「うちの人に何してくれてんねや」と怒鳴りこみにいったそうです。そんな祖母は孫にもとても優しく接してくれました。祖母の作るオムライスが大好きでした。「おばあちゃん、オムライスつくって～」「よっしゃ、こしらえよか」と。話は横道にそれましたが、『夫婦善哉』はそんなおばあちゃんとの記憶を思い起こさせてくれる小説です。

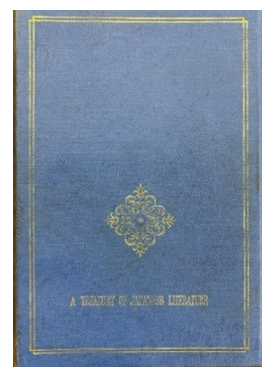
さて、「これはおもしろい」ということで思いついた本をご紹介しますと思いますが、どちらも大切な思い出（初恋、おばあちゃん）を思い起こさせてくれる本でした。皆さんにも「大切な思い出」を受け止めてくれる本がきっとあります。そんな本との出会いがあるといいですね。



←『阪急電車』

有川浩著

図書館配架場所：文庫（18 - 19）



『夫婦善哉』→

織田作之助著

図書館配架場所：一階閉架書庫

（図書係の方に依頼をすると借りられます）

「わからない」を楽しむ



機械工学科 藤田 健太郎

令和 6 年 4 月、機械工学科に着任しました藤田健太郎と申します。私は本校の卒業生で、本科 5 年間と専攻科 2 年間の合計 7 年間お世話になりました。学生的时候、本校の「図書館だより」を時々見ていた記憶があり、その中に新任教員による本の紹介等があったことをうっすらと覚えていたので、この話が来たときには「ついに来たか」と思いました。というのも、私はあまり本を読まないで、単純にネタがないということです。皆さん誰でも気軽に手に取れる本の紹介はできませんので、少しマニアックではありますが、私の専門分野に関連する図書について紹介してみようと思います。



図 1 左：『はじめての制御工学』、右：『はじめての現代制御理論』
(どちらも内容は入門的で、初学者におすすめの本です。)

私の専門は「制御工学」という分野です。ざっくりとえば、あらゆるモノの動きをデザインする学問です。「制御」という言葉自体は日常生活においてよく耳にするのではないのでしょうか？「機械・ロボットを制御する」とか「自分の感情を制御（コントロール）する」とか。ここで言う「制御する」とは、何かしら決めた目標に到達させる・近づけるために何か手を加える、といった意味です。例えば、気分が落ち込んだとき、元気になるために甘いものを食べたり、運動をしたりするという行為も立派な「制御」です。

元々私は機械やロボットの動きを設計することについて漠然と面白そうだなと思っていました。もちろん、当時は詳しいことはわかりませんでした。モノを動かす仕組みに対する憧れがありました。そして本科4年生のとき、制御工学の授業で使う教科書を初めて開いたとき、そこにあったのは無数の数式でした。これでモノが動くのかと衝撃を受けました。そのときの教科書が『はじめての制御工学』⁽¹⁾です。当時は何もわかりませんでした。それがまた魅力でもありました。わからないのだけれども少しずつでもわかるようになりたい。自分で「わかりたい」と思って、勉強したのちの「わかった」からは非常に大きな達成感が得られました。

少しずつわかるようになると、どんどん前に進みたくなります。そこで購入したのが『はじめての現代制御理論』⁽²⁾です。制御工学ではよく学問的に「古典制御理論」と「現代制御理論」とに分けられます。詳細には触れませんが、『はじめての制御工学』は古典制御理論の内容でしたので、今度は現代制御理論を勉強するために同じシリーズの『はじめての現代制御理論』を読みました。この本には研究や大学院試験対策等でも助けられました。そのようなこともあり、この本にはかなり思い入れがあります。

今回、私が制御工学分野の研究を行うきっかけとなった図書の紹介をさせてもらいました。今回名前を挙げた本の内容にはほとんど触れませんでした。制御工学に少しでも興味のある方にはおすすめです。わからないけど少しずつでもわかるようになりたい、と思えるようなものとの出会いは多くありません。そういったものが既にある方はどんどん「わからない」を楽しんで、そういったものがない方は時間のあるときに探求してみてもいいのではないでしょうか？

【今回紹介した図書】

- (1) 佐藤和也・平元和彦・平田研二, はじめての制御工学, 講談社 (2018)
図書館配架場所: 専門・教養図書 (書架番号 1~28), 図1 左参照
- (2) 佐藤和也・下本陽一・熊澤典良, はじめての現代制御理論, 講談社 (2020)
図書館配架場所: 専門・教養図書 (書架番号 1~28), 図1 右参照

BOOK HUNTING 2024

今年は鹿児島市の書店にてブックハンティングを実施することができました。

【活動の目的】

学生のニーズに即した書籍を直接購入し、本校図書館の学生用図書 of 更なる充実を図ること、併せて学生図書委員が多くの新刊の書籍に触れることを通じて、書籍に対する知識・見聞を深めること。

2024年6月29日（土）、14名の図書委員がジュンク堂書店鹿児島店にてブックハンティングを行いました。委員全員で店内を探し回り、専門書、小説、ライトノベルなど多岐にわたるラインナップの169冊の本を選びました。どうぞ図書館で手に取ってご覧ください。



参加した図書委員のみなさん。
当日選書した本とともに店内にて。



選書した本は、ブック
ハンティングコーナー
に置いてあります

BOOK REVIEW

from BOOK HUNTING 2024

知念実希人『放課後ミステリクラブ』

いま、小学生に人気の一冊。そんな子供みたいな本読まないって？それがそうでもなくて。見た目は子供っぽくても、中身はかなり凝ったナゾ解き。でも、お話は小学生でもわかる単純さ。死人も出てきません。スプラッタが無理な方にも安心。立ち読み感覚でスッと読めるので、時間つぶしに最適な一冊だと思います。

八目迷『夏へのトンネル、さよならの出口』

ガガガ文庫から刊行されているライトノベルでとある田舎の夏が舞台

とある田舎の高校に通う主人公は通学中の電車内でとある噂<ウラシマトンネル>について耳にする。どうやら、そのトンネルはくぐると<なんでも>願いをかなえてくれるような… そのトンネルのことが頭から離れないままその日を終えた主人公は、夜の散歩に出る。すると、人が通れるぐらいのサイズの謎の穴を見つけ入ってみると、中には紅葉した並木道が広がる不思議な空間になっており少し歩いていくと道の真ん中に<見覚えと思い入れのある明らかに自分のものではないサンダル>が転がっていた。そのサンダルを拾った主人公は気味が悪くてトンネルを引き返し出口を抜け、家に帰ると携帯にはたくさんの不在着信が… 次の日、学校からの帰り道、不思議な雰囲気を感じた東京からの転校生に例の<ウラシマトンネル>について聞かれ、<お互いの手に入れたいモノのため>に共同戦線を結ぶことになった… このようにして物語が始まるわけです

が、噂のウラシマトンネルの謎、主人公が見つけたトンネルの正体、謎のサンダルの持ち主、お互いに手に入れたモノの行方、など気になったなら実際に手に取って読んでみてください。蒸し暑い夏の日、部屋に吹き込む生ぬるい風、蝉の聲、キンキンに冷えたバナナジュース、寝転がったときの蘭草の香りを想像しながら皆さんもトンネルをくぐり長く短い夏をどうぞ

原田マハ『本日は、お日柄もよく』

本作は結婚式の長く気の遠くなるようなスピーチを聞く主人公が、その中で思わず膝を打ってしまうようなスピーチをする女性に出会います。その女性に興味を示した主人公はその女性のもとに赴き、スピーチライターという仕事を知ります。そこで主人公はスピーチとは、言葉とは何かを学んでいく作品です。めちゃくちゃ面白いです。スピーチライターというあくまで台本を作るという仕事で面白くなるのかと、懐疑的な目線で最初は読んでいましたが舐めていましたね。主人公がスピーチライターの仕事を通して、沢山の人の熱い思いや言葉の強さを知っていく。その情熱に共鳴して堪らず心が揺れ動きましたね、私は。これから長い夏休みに入っていきます。是非興味が湧いたなら図書館にあるこの本を手にとって読んでいただきたいです。

松浦健一郎『ファミコンの驚くべき発想力』

半導体技術が現在ほど発達していなかったファミリーコンピュータ全盛期において、少ない記憶容量と限られた計算能力を限界までフル活用することで、表現不可能を表現可能にする。そのような奇跡ともいえる技術が親しみやすい内容で分かりやすく解説されている渾身の一冊です。

図書委員による、夏のオススメ ブックレビュー

今回この図書館だより 95 号の編集に携わった図書委員の皆さんから
この夏に是非読んで欲しいイチオシの本を紹介いたします！
どんな本を読めばいいか迷っている、新しいジャンルの本を読みたい
そんな時のご参考になれば幸いです！

1M 渡邊蒼太

『僕らの7日間戦争』

著：宗田理

【オススメの理由】

子どもたちの行動力や奇抜なアイデア、悪い大人たちとの戦いが読んでいてワクワクするから



5M 森川柊作

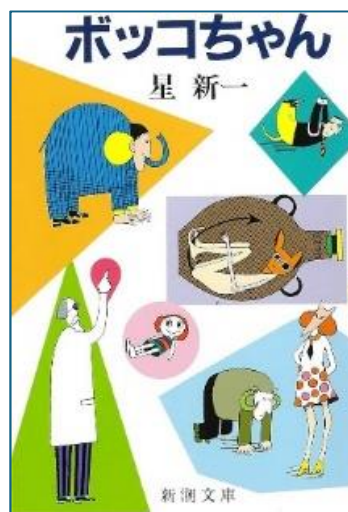
『ボッコちゃん』

著：星新一

【オススメの理由】

夏って暑いですね。やる気が出ないのも、集中力が保てないのも、全部夏のせい。

それはさておき、あんまり集中できない夏に送る、ショートショートの世界。1話たったの3ページ。一瞬で完結。YouTubeのショートばかり見てる皆様へ、本を読まなきゃいけない時が訪れた時に、読んでみてほしい1冊。



4M 尾渦蓮太郎

『夜は短し歩けよ乙女』

著：森見登美彦

【オススメの理由】

「夏と言えば」の問に対し、「怪異譚」という解は一定数あるであろう
 そうなれば、独特な表現方法で構成される物事の数々、物語中で巻き起こる奇妙な出来事…

この本に書き記されている物語は、もはや怪異譚と言って過言ではないだろう

この夏のひと時に、作者の独特な世界観に浸るのもよいだろう



1M 小川快

『コンビニ人間』

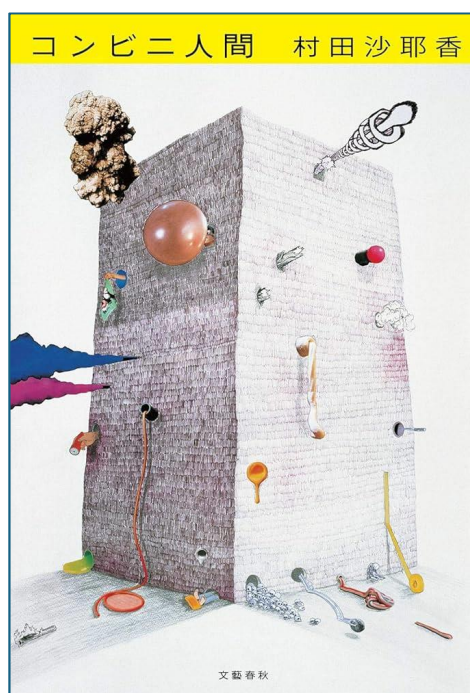
著：村田沙耶香

【オススメの理由】

淡白で異常な主人公の描写とそれを取り巻く

人物の人間の生々しさ

奇妙な読後感が夏におすすめです。



5M 抜木和哉

「僕が愛したすべての君へ」

「君を愛したひとりの僕へ」

著：乙野 四方字

【オススメの理由】

この2冊はひとりの人間の平行世界を描いた物語です。

それぞれの世界を行き来しながら進んでいくストーリーは

2冊とも完読した瞬間、一気にその意味が結びついて面白いです！

読む順番によっても完読時の感想が変わるためぜひ読んでみてください。



3A 郭龍佑

「深夜特急」

著：沢木耕太郎

【オススメの理由】

今日の課題を、明日の試験をすべて投げ出して旅に出たい。そんな衝動に駆られたあなたへ、インドのデリーからイギリスのロンドまで、乗り合いバスで向かうバックパッカーによるバックパッカーへのエッセイです。文庫本はとても薄く、読みやすいのではないのでしょうか、夏の旅のお供に忍ばせてください。



サリンジャー作品との出会い



一般科目文科 笹谷 浩一郎

サリンジャーの小説を初めて読んだのは、大学生になってからでした。大学の卒業論文のテーマがなかなか決まらず悩んでいた時に、指導教官から文学作品の文体研究をしてみたらどうかと勧められたのがきっかけです。当時、私は「英語学」という分野を専攻していたのですが、「アメリカ文学」にも興味があり、アーネスト・ヘミングウェイ、ウィリアム・フォークナーの長編小説や、シャーウッド・アンダスン、ウィリアム・サローヤン、フランシス・スコット・フィッツジェラルド、バーナード・マラマッドらの短編小説をよく読んでいました（ちなみに、マラマッドは英語科の松川先生の専門分野でもあります）。どうせなら、それまで読んでことがなく、面白く読める作品を選ぼうと思い、同じ学科の友人に「なにかお勧めはない？」と尋ねたところ、「いまサリンジャーを読んでるけど、すごく面白いよ」と言われ、最初に *Nine Stories* (Little, Brown and Company 版) という短編小説集、続いて代表作 *The Catcher in the Rye* (Bantam Books 版) を読み始めました。

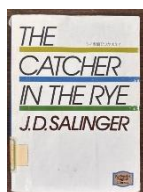
最初は文体や文法的特徴の整理、分析が中心だったのですが、いつの間にか物語の展開に引き込まれてしまいました。内容としては、学校での成績不振から退学処分となったホールデン・コールフィールドという17歳の少年が、学校を去る前に寮でもトラブルに巻き込まれ、寮を飛び出して自宅に戻るまでに、さまざまなできごとに遭遇する、というものです。主人公には彼なりのこだわ

り、正義感があり、周囲の人間が垣間見せる偽善や不誠実さに怒り、傷つきます。そんな彼が心を許せる唯一の存在が、心優しく兄思いの妹のフィービーです。兄を心配する妹から「何かやりたいこと、なりたいものはないの？」と聞かれた彼は、「小さな子どもたちが安全なライ麦畑で遊んでいるのを見守り、子供たちが畑から出てしまいそうになったら、それを捕まえる人（Catcher）になりたい」と答えます。

この作品は、これまで何度か日本語訳が出されていますが、翻訳者によりタイトルが異なります。1952 年の橋本福夫訳では「危険な年齢」、1964 年の野崎孝訳では「ライ麦畑でつかまえて」というものでした。他にも「ライ麦畑の捕手」「ライ麦畑でつかまえる人」という、ざんねんな直訳もあったようですが、いずれも原題をどのように日本語で表現するかという苦心のあとが窺えます。2006 年には、あの村上春樹が翻訳を手掛けるというニュースが話題となり、彼がどのようなタイトルにするか、多くのサリンジャーファンが注目していたのですが、結果はなんと「キャッチャー・イン・ザ・ライ」。私も呆気にとられたのですが、同時に、さすがは村上春樹、と感じさせられたものでした。

この作品には、独特の言葉遣い、場合によっては「不適切」な言葉や描写があちこちに見られます。かつてアメリカでも教育委員会によって問題ありとされ、学校や図書館から追放されたこともあるようです。そのような本が今では普通に図書館に配架され、学校によっては課題図書にリストアップされているのも興味深いことです。当時の若い世代から圧倒的に支持され、日本でも多くの愛読者がいます。また、青年期の心理学の教材として、多くの大学で利用されているとも聞きます。

この作品が世に出た 1951 年から 70 年以上が経過しているため、前出の橋本、野崎訳は今の高専生には共感を持って読むことは難しいでしょうが、村上春樹訳なら「ハルキスト」でなくとも、すんなり読めるのではないかと思います。みなさんも機会がありましたら、手に取ってみてください。



← 『The catcher in the rye』
J.D. Salinger 著
図書館配架場所：文庫(18-19)



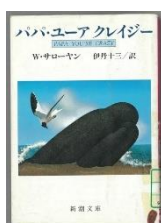
← 『老人と海』
アーネスト・ヘミングウェイ著
図書館配架場所：文庫(18-19)



← 『アブサロム、アブサロム!』
ウィリアム・フォークナー著
図書館配架場所：専門・教養図書(書架番号 1～28)



← 『ワインズバーグ、オハイオ』
シャーウッド・アンダスン著
図書館配架場所：文庫(18-19)



← 『パパ・ユーアクレイジー』
ウィリアム・サローヤン著
図書館配架場所：文庫(18-19)



← 『グレート・ギャツビー』
フランシス・スコット・フィッツジェラルド著
図書館配架場所：文庫(18-19)



← 『短篇コレクション』「白痴が先」収録
バーナード・マラマッド著
図書館配架場所：専門・教養図書(書架番号 1～28)

思い出の読書

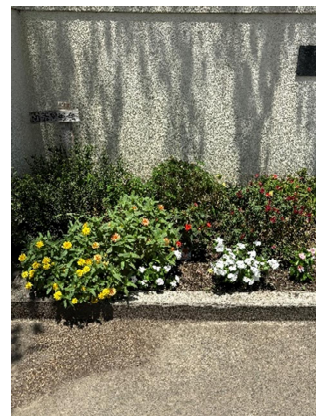
一般科目理科 武田誠司

私が「思い出の読書」のタイトルでの原稿依頼を受け、真っ先に頭に浮かんだ書籍は、「モリー先生との火曜日」（ミッチ・アルボム著、別宮貞徳 訳、NHK 出版）です。

ブランダイス大学の社会学教授だったモリー・シュワルツ先生は、筋萎縮性側索硬化症（ALS）で 1995 年に亡くなりました。生前、アメリカ ABC テレビの報道番組のインタビューを何度か受け、かつての教え子だったミッチ・アルボムと対話を繰り返しました。それが

「モリー先生との火曜日」として 1997 年に出版され、アメリカでベストセラーになりました。モリー先生は、アメリカで典型的な賢人、誰もが求めるやさしい師とみなされた存在でした。大学卒業後にスポーツ・コラムニストとして成功していたアルボムは、卒業後 16 年間もモリー先生と連絡をとっていませんでしたが、死を目前としたモリー先生の元に毎週火曜日に会いに行くことになりました。14 回の面会でモリー先生と語り合い、人生について学んでいきます。

さて、皆さんには、人生の師と言える恩師がいますか。私は、コロナ禍の 2021 年にこの本を手に入りました。私は読後、大学時代の陸上競技の恩師を思い浮かべました。佐世保市に住むその恩師とはコロナ禍もあり 5 年間会っていませんでしたが、先日、恩師の米寿のお祝いに参加することができました。祝宴の前に佐世保市弓張岳の展望台をゴールとし、6km ほどの登り道を走るレースイベントが行われました。私は 88 歳の恩師の背後を走るサポート役としてレースに参加しました。スタート直後に勢いをつけ早いピッチを刻みながら登り坂を疾走する瘦身の恩師と雑事にかまけて中年太りのレスラーのような体型の私は、必死に一步一步登り坂を走って行きました。35 年前の 10 代の体育大学の若者だった私たちは、当時 50 代の恩師の走りに、（文字通りの）後塵を浴びたことが度々あります。しかし、その時に比べたら恩師の膝回りの筋肉が落ちていることが見てわかり、老人の衰えは明らかでした。それでも、1 回も立ち止まることなく 6km の山登りコースを走りきりました。「私は 80 歳代になってこれだけ走れるだろうか。」「何より、88 歳の恩師が今現在も、私たち教え子に



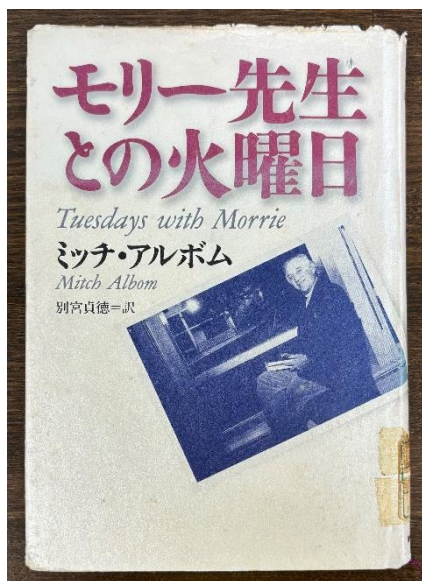
※本人の要望により顔写真は寮
正門にある花壇の写真

自らの走る姿によって気概を見せている。」私はそこに改めて賢者の魂を感じました。

私は出会った当時からずっと恩師を目指すべき人生の目標としてきました。おそらく死ぬまで恩師に追いつくことはできそうにありません。しかし、そのモデルがあったからこそ、人生の中の目指すべき光として、道を大きく踏み外すことなくここまで教職を続けることができたと考えています。恩師と対面することで、我が身と精神が崩れていないか点検することができました。

「モリー先生との火曜日」の作中にあった文章を私はノートに書き写していました。「教師は未来永劫にまで力を及ぼす。影響がどこで止まるか、自分でもわからない。(ヘンリー・アダムス)」

「そのような先生になれますように。アルバムのような学生に出会えますように。」そのような願いを持ちながら、あと10年の教職の道を誠意一杯がんばりたいと思います。



←『モリー先生との火曜日』

ミッチ・アルバム著

別宮貞徳訳

図書館配架場所：専門・教養図書（書架番号 1～28）

本棚の紹介を「光る君へ」を絡めて

一般科目文科（国語） 関 幹雄

表題のような依頼が 1 年生の学生(図書委員)からあった。ここ数年で初めてのことだ。

「図書館だより」を学生主体で作り上げようとする姿勢に嬉しさを感じ、つい引き受けてしまった。

数年前から図書館カウンターの正面のメタルラックを間借りしている。国語の授業では限られた単元しか扱えないため、その周辺の文章や本にも触れて欲しいというのが当初のねらいであった。そののち、新しい本がなかなか図書館に入らない状況も見えてきて、私が購入して読了した本なども並べ始めて今に至る。

その間、図書館も様変わりし、各方面からの支援のおかげで文庫やブックハンティング由来の書籍が充実してきた。さらに良い場所へとゆっくりと変わっていったと切に願う。

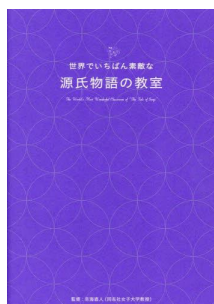
話を戻して、私が遊ぶそのコーナーは「国語科との連携」と名付けられた。「連携」というからには教科書とのつながりを意識した本は置いておきたい。今年の 1 年生が扱う『サラバ!』という小説は、きちんとハードカバーの上下冊を並べている。教科書ではその一部しか取り扱えない。

流行を意識した本も並べている。ちょうど大河ドラマを見ながらこの原稿を書いているが、今まさにテレビの中で まひろ／紫式部(吉高由里子)が、父の為時(岸谷五朗)の旧知(= ともだち)である宣孝(佐々木蔵之介)から「ありのままのお前、お前を丸ごと引き受ける。」なんて言われている。

私だってそれぐらい言うよ、いや、もっと気のきいたことだって言えるよ、ビジュ(= 外見)では負けているけどね、年齢は私の方が近いもんね。そんなことをテレビの前で考えてしまった。ドラマでさえそうなのだから、むかし『源氏物語』を読んだときには本当に色々ともうの思いにふけてしまった。千年を越えても変わらないこともあるのだ。

また話が逸れたが、今年は『源氏物語』を中心に据え、『紫式部日記』や周辺の古典、現代の短歌集などを並べてみた。ポップを付けているものもある。ここでも数冊紹介して筆を置きたい。





『世界でいちばん素敵な 源氏物語の教室』吉海直人（監修） 2023 年 三オブックス || 913.36 314

——Q 光源氏に NG な女性はいなかったの？

A なんでもありでした。光源氏の女性の対象は幅広く……ただし、出家した女性だけは例外だったようです。（p.33）

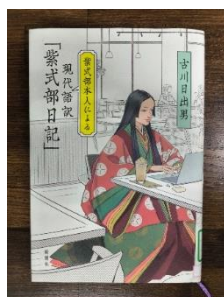
《関コメント》Q&A 形式でわかりやすく、ビジュ（= 写真・図版）が美麗。



『愛する源氏物語』俵万智（著） 2003 年 文芸春秋（文春文庫） || 913.36 774

——恋愛のはじまりに、それほどバラエティはないが、恋愛の終わりは、十人十色だ。その人の性格が出るのは、恋のはじめかたよりも、だんぜん終わらせかたである。p.51

《関コメント》『源氏物語』の愛を「和歌」から考えることができる。



『紫式部本人による 現代語訳「紫式部日記」』古川日出男（訳・著）

2023 年 新潮社 || 913.6 774

《関コメント》授業ではなかなか触れない日記。紫式部が現代にいたらと想像して楽しく読めた。



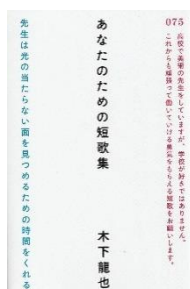
『すらすら読める源氏物語』

瀬戸内寂聴（訳・著）

2023 年 講談社 || 913.36 314

《関コメント》

本文と現代語訳が上下に並んでいてすらすら読めた。



『あなたのための短歌集』木下龍也（著） 2021 年

ナナロク社 || 911.168 キ7

《関コメント》

現代の歌人による短歌集。見開きに「お題」と「短歌」が並んでいるのが面白い。



『ホスト万葉集』手塚マキと歌舞伎町ホスト 80 人

（著） 2022 年 講談社 || 911.167 テ7

《関コメント》

この和歌集、その作者層はホストの方々。コンセプトの勝利。

教養講座の取り組みについて



一般科目文科 松川兼大

私は令和3年度から5年度にかけて洋楽や文学作品を用いた教養講座を継続的に実施する機会をいただいておりますが、ここではその取り組みについて少しご紹介させていただければと思います。まず、私自身がこうした取り組みを始めたきっかけとしましては、コロナ禍まっただなかの2020年頃にさかのぼります。現5年生の学生さんは特によく記憶していることと思いますが、この年はここ都城高専においても授業のほとんどが遠隔の形式で実施される異例の事態となりました。その当時の学生さんたちが感じていたであろう不安や閉塞感の大きさは、私などの想像力のおよぶところではありません。しかしながら、かくいう私自身も、突然はじまった遠隔授業の準備や膨大な課題の採点に追われる日々に、どうしようもない行き詰まり感を抱えることになってしまいました。

そこで、そういった気分を打破しようと思い、令和3年度に「音楽で旅するアメリカ」という、建国当初から現代にいたるまでのアメリカの歴史や文化史を縦糸に、それぞれの時代ごとに流行したアメリカのポピュラー音楽を横糸として見ていく講座を実施しました。南部のプランテーションで労働力として搾取される黒人奴隷たちが日々の苦しみや悲しみを歌ったところから「憂鬱」を意味するブルースが生まれたというくだりを説明し、ロバート・ジョンソンの“Love in Vain”を取り上げ（ローリング・ストーンズのカバーも有名ですね）、1960年代に入ると公民権運動の流れを概観しながらサム・クックの“A Change Is Gonna Come”を取り上げ、ちょうどそのころ公開予定だったアレサ・フランクリンの映画にも言及し……といった具合です。いい意味でも悪い意味でもまとまりを欠いてはいますが、アメリカ音楽の父と呼ばれるスティーヴン・フォスターからエルヴィス・プレスリー、マイケル・ジャクソン、テイラー・スウィフトまで幅広く取り上げることになりました。幸いにしてこの講座は満員御

礼となりましたが、これは異国の文化や旅といったものへの憧れがかきたてられるコロナ禍特有の空気も影響していたのだと思います。

これに手ごたえを感じた私は、翌年度にはがらりと趣向を変えて「英訳と読み比べる日本近代文学」という講座を実施しました。芥川龍之介の「蜘蛛の糸」、夏目漱石の「夢十夜（第三夜）」、川端康成の「日向」をそれぞれ英訳と比較しながら読むというものです。英語の教員が日本文学？と思われるかもしれませんが、もともと私は日本文学に興味があり、大学で英米文学を学ぶようになってからも、暇をみつけては三島由紀夫や川端康成などを読みふけていました。日本語で書かれた作品が外国語に翻訳されるとき、そこには何が新たに付け加えられ、また何が失われるのかという翻訳の問題について考えることも意図しており、受講者の方々と作品を原文と英訳で読み比べながら、議論をすることができました。ただし、市民向けの講座にしてはレベルが高すぎて、気軽に参加できるものではなかった点については反省事項として次につなげていきたいと考えています。

改善すべき点が多々あるとはいえ、ここまででいちおう洋楽や文学作品を用いた講座を一回ずつ実施することができましたので、その流れで令和 5 年度は前期に「オールディーズ・ワンス・モア ～懐かしの洋楽をもう一度～」、後期に「楽しく読むアメリカ短編小説」というふたつの講座を実施しました。前者では 1950 年代～70 年代のオールディーズ（懐メロ）を取り上げ、「恋愛」や「人生」といったテーマに沿っていろいろな歌を聞いていきました。スプリームスの“You Can't Hurry Love”、ボブ・ディランの“Blowin' in the Wind”、ビートルズの“In My Life”といった、多くの人に時代を越えて親しまれるポップソングにはなにか「英語のこころ」のようなものが感じられる気がします。それはちょうど日本人にとっての万葉集の名歌のようなもので、意味がよくわからなくてもくり返し聴いていると、たしかに琴線にふれるものがあるのですね。後者では翻訳を用いてアーネスト・ヘミングウェイの「二つの心臓の大きな川」（“Big Two-Hearted River”）とバーナード・マラマッドの「魔法の樽」（“The Magic Barrel”）を読んでいきました。いかにもアメリカっぽい作品と、これもアメリカ？という作品を取り上げたつもりです。私たちにとってアメリカはなんとなく知っているつもりになってしまう国のひとつですが、短い物語を読むだけでも、人種や文化の多様性を基盤とするこの国の人々の現実もまた多様なものであるということに気づかされます。

かつてビートルズは日本のみならず本国イギリスにおいても、年長者からは不良の聞く音楽として眉をひそめられたものでしたが、現在では“Yesterday”や“Hey Jude”などは名曲として音楽の教科書に掲載されるようになっています。このように、芸術作品の価値というものは決して固定されたものではなく、

時代や場所によって評価が変わっていくものです。洋楽であれ J-POP であれ、学生のみなさんもそれぞれ好きな曲があるかと思います。そういったものはあるとき突然生まれてきて点としてのみ存在しているのではなく、その背景には先人たちによる過去の膨大な作品の積み重ねがあって、どんな曲もいずれはその中に位置づけられるようになるという考え方をすることが大切です。ある曲が気に入ったら、今度はそのアーティストの他の曲を聞き、誰に影響を受けているのかを調べて、どんどん深掘りしていくこと。そうしていくうちに、好きな一曲がどんどん他と関連性を持つようになり、自分なりの音楽の理解、音楽の価値観というものにつながっていくでしょう。

音楽を例にとって説明しましたが、これは実際にはあらゆる芸術分野についていえることです。「教養」とはなにかという問いに満足に答えることはとてもむずかしいのですが、少なくとも私が考える教養とは、部分的にはこのようなものです。教養は雑学とはちがいます。雑学はなんの体系も成していきませんが、しっかりとした教養は私たちの価値観となり、物事を判断する際の重要なよりどころになっていきます。始めた動機こそ個人的なものでしたが、いまはひとつのポップソングが、一編の小説が、それを必要とする人にとっては人生の一部になるくらいの重みを持つものと信じて、講座を続けさせていただいています。



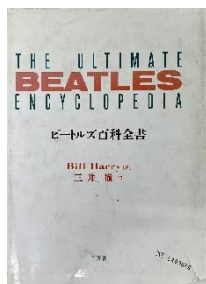
← 夏目漱石「夢十夜
(第三夜)」

図書館配架場所：文庫
(18-19)



← 川端康成「日向」収録

図書館配架場所：文庫
(18-19)



← 『ビートルズ百科全書』
ビル・ハリー著；
三井徹監訳

図書館配架場所：専
門・教養図書(書架番
号 1~28)



← 『芦原すなおのビー
トルズ巡礼』
芦原すなお著

図書館配架場所：専
門・教養図書(書架番
号 1~28)

【夏読書のすゝめ】

図書館利用アンケートの実施

1. 図書館利用について 2, あなたについて 3, この夏に読みたい、お勧めしたい本について アンケートを実施いたしました。

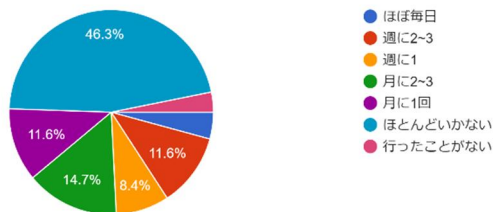
【回答数：95 件】

ご協力、大変ありがとうございました。
今後の図書館利用や、より豊かな読書生活へ繋がるように活用させて頂きます。

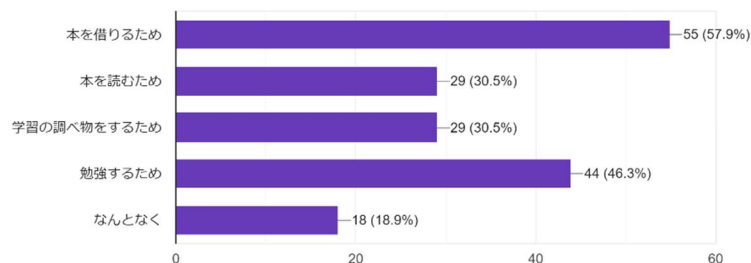
【アンケート結果】

【セクション 1, 図書館利用について】

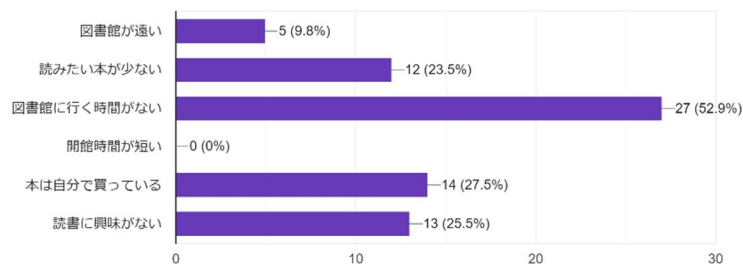
図書館にはどのぐらい行きますか
95 件の回答



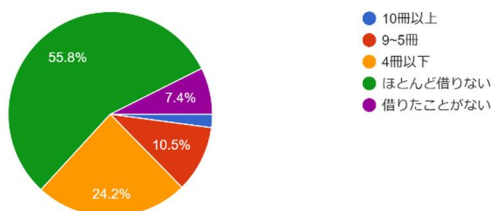
どういう目的で図書館を利用しますか？ 複数回答可能
95 件の回答



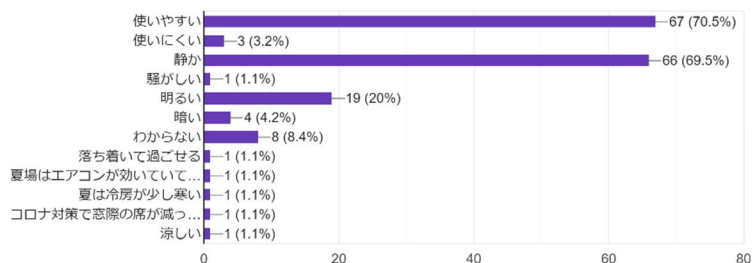
質問1で(ほとんどわからない)と答えた方のみ 図書...理由であてはまるものはありますか？ 複数回答可能
51 件の回答



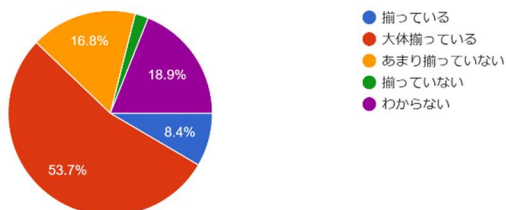
図書館で一ヶ月にどのぐらい本を借りますか
95 件の回答



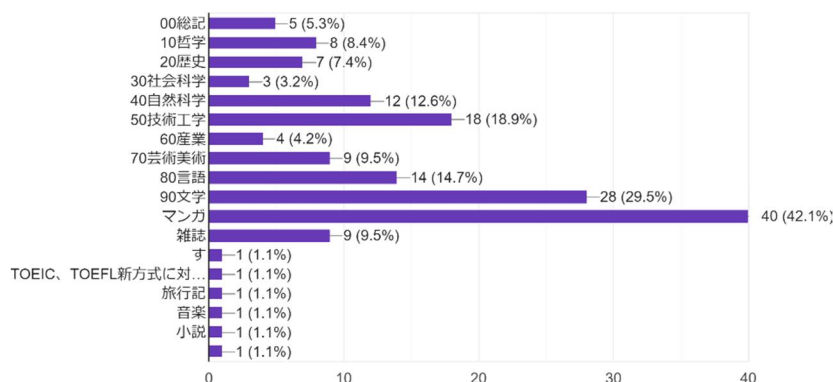
図書館の様子はどうか？ 複数回答可能
95 件の回答



読みたい本や必要だと思う本が図書館に揃っていますか
95 件の回答

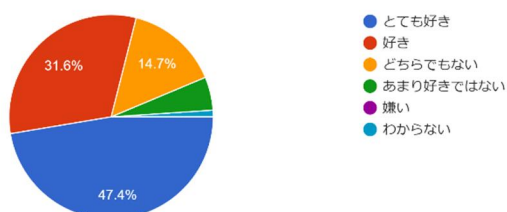


今後充実して欲しいジャンルの本はありますか？複数回答可能
95件の回答

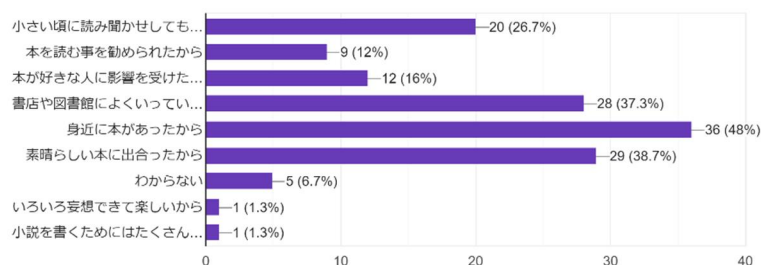


[セクション2 あなたについて]

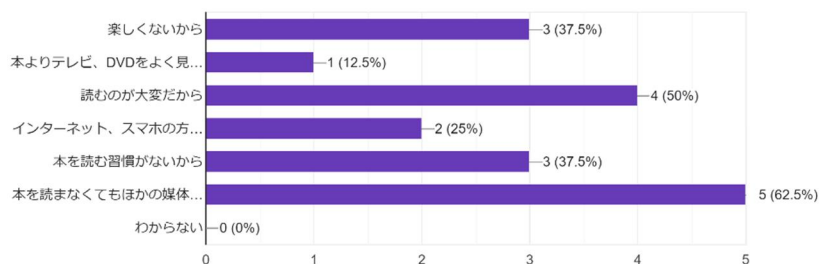
本を読む事は好きですか？(マンガ、雑誌等含む)
95件の回答



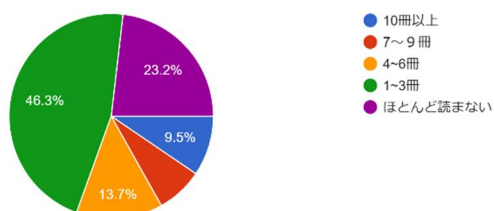
質問1で「とても好き」「好き」と答えた方へきっかけはありますか？複数回答可能
75件の回答



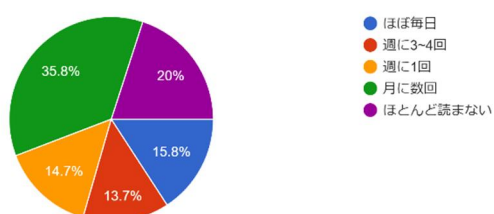
質問1で「あまり好きではない」「嫌い」と答えた方へ思い当たる理由はあるですか？複数回答可能
8件の回答



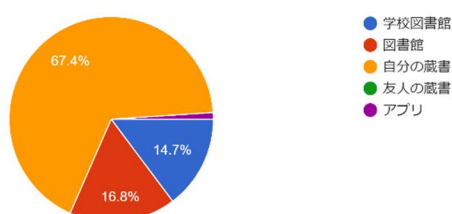
月に本を何冊ぐらい読みますか？
95 件の回答



どのくらいの頻度で本を読みますか？
95 件の回答



どこの本をよく読みますか？
95 件の回答



[セクション 3,この夏に読みたい、お勧めしたい本]

皆さんのオススメです、是非書店や、また図書館に蔵書があるものもございます。
是非お越しください

「この夏に、読んでみたい本はありますか？」(回答数 32 件)

- 物語シリーズを一気読み
- 「少年 H」途中まで読んでおもしろいと感じたため。
- 上橋菜穂子先生が書かれている本
- 『あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。』著・汐見夏衛
前作の『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』がとても夏としての印象を私に残したので、読み返すと同時に続編に手を伸ばそうかと思います。

- らんま 1/2
- ひぐらしのなく頃に
- N 道尾秀介
- 専門書
- 52 ヘルツのクジラたち
- "タイトル:「息吹」、「三体」
理由:結構前に買っていたが、読まずに積んでいたのでそろそろ読みたいと思っている。"
- "僕らの図書館戦争、Another
友達に勧められたから"
- 歪んだ窓
- 三国志
- 洋楽(ビートルズ、ローリングストーンズ等)の伝記など
- ホラー小説、怖いのが好きだから
- キャプテン
- 倫理に関する本
- アルジャーノンに花束を
- 告白 湊かなえ先生の本の中でも人気の作品だから
- "『宇宙はなぜ「暗い」のか』津村耕司著
理由は中学校の図書館にあって一度読んでいるが、改めて高専で天文学の授業を受けた時に通ずる話が多く、ブラックホールや宇宙の構成についてわかりやすく解説されていたため、また読みたいと思っています。"
- 春夏秋冬代行者 一年前から続きを読んでいるから
- "成瀬は天下を取りに行く。
以前興味があって買ったが結局読めていなかったから。"
- "「キタ・セクスアリス」
買ったまま読んでないから"
- ハリーポッター
- 「転の声」:Z世代には有名なロックバンド「クリープハイプ」のボーカル・尾崎世界観さんの作品。惜しくも受賞は逃してしまいましたが、今年の芥川賞候補にもなっていた作品ですので是非読んでみたいです。
- 52 ヘルツのクジラたち 理由:結構前から気になって長期休みにじっくり読みたいと思ったから。
- "「かがみの孤城」と「蜜蜂と遠雷」
「かがみの孤城」は中学の友人に勧められていたから。

「蜜蜂と遠来」は名作と言われていて気になったから"

- 宇宙系 自然科学

「この夏に、お勧めしたい本はありますか？」(回答数26件)

- 硝子の塔の殺人
- "『傷物語』著・西尾維新
夏の話ではありませんが、長編という点で夏休みに読み浸りたくなる本です。
"
- 文豪ストレイドッグス
- 薬屋のひとりごと、流浪の月
- 龍神の雨
- リバース / 湊かなえ
- "永遠のゼロ
今年、あの花が咲く丘で君とまた出会えたらの映画が流行しましたが、この本はより戦争のことを深く知れる本でおすすめです
内容が難しいですが、夏休みで読み返しできるので最高です！"
- 夏の終わりに君が死ねば完璧だったから
- "本好きの下剋上です！内容は最近流行っている異世界転生もののなのですが、伏線が多く、どこか殺伐とした印象でした。本の内容が『主人公からの視点』だということを理解して読むと、更に面白く、何度も読み返したくなる本です。
長編小説なので入りにくいとは思いますが、入ったら一直線、寝ることも出来なくなるのでおすすめです。"
- "夏の庭
- 毎年夏に読みたくなるくらい面白くて好き"
- "タイトル:「プロジェクトヘイルメアリー」
理由:取り敢えず読むべき SF 小説 No.1 です"
- "おしり探偵
いところが小学校で人気だから"
- 変な家
- "キケン
理由 本をあまり読まない僕がおもしろい
と思ったから"
- 湊かなえの小説
- あと少しもう少し

-
- 僕は明日昨日の君とデートする
- "『アルスラーン戦記』(田中芳樹著)、『精霊の守り人』(上橋菜穂子著)
どちらもシリーズ物であるため、長期休暇を利用して読むのが良いと思う。
どちらも私が小学生の時にテレビのドラマを通して原作を知ったが、異世界
の文化を細かに表現してありハマる人はハマると思う。
ぜひ、手にとって実際に読んでいただきたい。"
- 守り人シリーズ
- 「はじめての文学 村上春樹」：村上春樹さんの読みやすい短編小説がまと
まった一冊。中には2ページ程度で終わる作品もあります。難しい言葉もほ
とんどないです。しかし、本という想像力が必要な媒体でしか得られない世
界観を堪能できる一冊です。本は嫌い！だけど今年は挑戦してみたい...とい
う学生さんにお勧めです。
- 青くて痛くて脆い
- "乙一の「夏と花火と私の死体」と野崎まどの「タイタン」
「夏と花火と私の死体」は夏が舞台で、読みやすいストーリーになっている
と思うから
「タイタン」はAIについての話で自分が好きな小説の一つだから"

改めましてアンケートのご協力、大変ありがとうございました。

特に、皆さんからの読みたい本、お勧めの本についての中には、自分が気にな
っているものもあるかもしれません。

5年或いは7年間もの長い学校生活の中で出会った本や、ふと読み返したくな
る本はありますでしょうか。本校図書館には専門書のみならず多くの文学作品
が所蔵されております。工学分野において、図面の引き方や実験精度を上げる
だけでなく、それらを活用するアイデアや、誰かに正確に伝える為には分野横
断的な知識と豊富な想像力が必要不可欠です。課題やレポートに追われる忙し
い日々ではありますが、是非この夏の長期休暇に多くの本に触れ、より広い視
野で後期に挑むことが出来れば幸いです。

本校図書館は、夏季休暇中も開館しております。また書籍検索には本校図書館
HPより、OPACを是非ご利用くださいませ

【図書館案内】 開架書庫

開架書庫に入るとすぐ目に入ってくるのがこの新着図書たちです。このコーナーには、本屋大賞に選ばれた本(新着図書)たちや、各クラスの希望図書のうちブックハンティング(BOOK HUNTING)により書庫に追加される本、国語の授業で取り扱われたり国語の教科書に収録されたりしている物語や説明文(国語科との連携)がそれぞれ棚に並べられています。今をときめく本や読みたい本を探している方は特に必見のコーナーです。



開架書庫には、広い分野にわたりたくさんの図書があります。専門教科の学習に必須となる専門書は言うまでもなく、レポートを書く際の参考文献となる書物であったり、今となってはもう出版されていないような古書だったりなど。たくさんのお本たちが本棚の中で誰かの手に取られるのを待っています。また、都城高専の開架書庫の中には、話題になったバトル漫画や超本格ミステリー小説、SPI の練習問題集に専門資格取得のための問題集などなど、ちょっとした息抜きや気分転換に利用できる書籍もたくさん所蔵されています。専門書目的でない方でも、ぜひ足を運んでみてください。

開架書庫には、都城高専の先生方が書いた本も置いてあります。皆さんの授業を担当している先生が書いた本も置いてあるかもしれません。また、本校教員著作の近くには、寄贈雑誌が置かれており、普段見ることができないような科学誌がたくさん置いてあります。もし知らなかったという方がいらっしゃいましたら、ぜひどこにこのコーナーがあるのか探してみてください。先生方が普段どんな研究をしているかといったことや、世界の最先端の研究分野はどんな内容であり、その技術が世界でどう役に立つのかといったことを知ることができます。

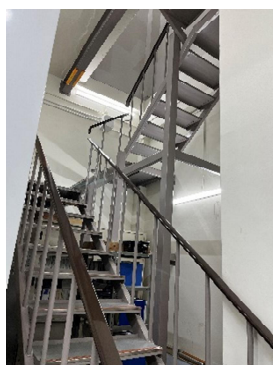
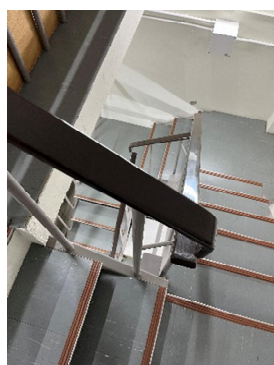


閉架書庫

閉架書庫は普段は開放されていない書庫です。開架書庫の隣の部屋にあり、入るには図書係の方に許可を貰う必要があります。閉架書庫にある本たちは、もともと開架書庫においてあったものが所蔵されています。開架書庫は新着図書やブックハンティング等により所蔵書籍の数が増えていく。そのため、数が多くなりすべてを収録しきれなくなってくると、借りられる回数が少なくなってしまう本が閉架書庫へと移動されます。

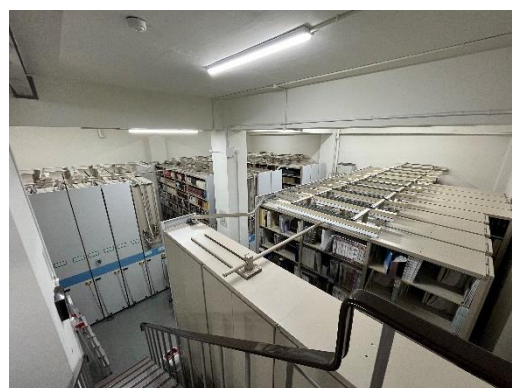


ここは閉架書庫に入ってすぐの2階の書庫です。入って左手には、たくさん本が置いてある棚があります。反対側には、1階へと下る階段が続いています。



閉架書庫2階から1階へは、書庫内の階段を使います。階段で1階の書庫へと行ってみましょう。

1階にも2階同様、たくさん本棚があります。ただ、この1階の本棚には秘密があり、なんと本棚についているボタンを押すと、本棚が動いて反対側の蔵本を見ることができるようになります。本棚がどのように動くのかは実際に訪れて自分の目で確認してみてください。



業務内容

図書館での業務内容について、図書係の方々と専攻科の方々に取材しました。

○ 図書係

図書館にいらっしゃる図書係の中原さんと清水さんに、業務内容やおすすめの本を取材しました。

業務内容としては、本の貸し出しや返却の対応、図書館内の掃除、本の出し入れの整理、図書館の鍵開け等多岐にわたります。また、学内の先生方から図書館内がない本について依頼があった際に、取り寄せを行うこともあるため、図書館外でも活躍されています。

おすすめの本は、中原さんは長編推理小説として絶対に読んでおきたい、横溝正史原作の『八つ墓村』や江戸川乱歩シリーズ、清水さんは主人公の独特な世界観が魅力の宮島未奈作の『成瀬は信じた道をいく』です。



○ 専攻科生

16:50 あたりになると、専攻科生の方々も図書館の業務にいらっしゃいます。専攻科の方々の業務内容も、図書係の方々と同様、本の貸し出しや返却の対応、入館者数のカウント、図書館の施錠等とのことです。



編集後記

今回のブックハンティングでは本を選ぶだけでなく委員の人たちと本について語り合うなどとても楽しい体験でした。あんなに大きな本屋さんに行くのは初めてで選書するのがとても楽しかったです。今回のブックハンティングで選書した本を通して本に興味を持ってくれる人が増えるとうれしいです。

(1M 渡邊 蒼太)

中学の時は時々しか本を読みませんでしたが、ブックハンティングや図書館だよりの制作などを通して沢山の本を知り読もうと思いました。

(1M 小川 快)

私個人としては、本をたくさん読んでもらいたい気持ちはありますが、このたよりを読んで気になる一冊を読んでくれるだけでも嬉しいと考えております。ぜひとも、食わず嫌いならぬ読まず嫌いをせず、近くの本好きの友達にオススメ本を聞いてみたりして、気になる一冊を見つけてみて欲しいです!!

(1E 甲斐 日陽)

ブックハンティングに初めて参加してみて、思っていた以上に本を見つけるのに少し苦労したが見つけられて良かったです。図書館で貸出可能になったら読みたいと思います。

(1A 志々目 かれん)

朝日が差し込む教室、図書館の角、行きつけの喫茶店の待ち時間、窮屈な高速バスの中。何時如何なる場所でも、頁が捲られる音は鳴り止まずあんなに分厚かった文庫本も物語より先に目視でもうすぐ終わりだということを告げられてしまった。そこには、読み切る達成感と物語が終わる寂しさがあり、同時に

次はどの積読を消化しようかという高揚感を感じさせるものがある。幾度も重版されたあの名著でさえ、この感覚は誰にも共有されず私の中だけに確かに宿るのだ。それはきっと絶えぬ本の醍醐味なのだろう。諸君。今夏こそは、蟬の音が届かぬ程貪るような読書を。もう一度！

(3M 郭 龍佑)

いろいろな先生に寄稿の依頼をして、締め切り数日前になって「締め切りが～～までなのでよろしくお願いします」と立場が上で仕事の合間やらないといけない先生に、催促するのは何とも形容しがたい精神的苦痛があったので自分は課題をギリギリではなく余裕を持って出そうと思った

図書のレビューを書くのは楽しかった！

最後に、寄稿に協力してくださった先生方ありがとうございました！！

(4M 尾湯 蓮太郎)

図書館だよりの表紙を担当しました。

表紙の池は実際には多湿で蚊が多く、刺されながら撮影して即撤収しました
笑

編集と合わせて、結果的に風情が出て良かったです。

(5M 抜木 和哉)

取材をするにあたり、普段利用している図書館でも知らなかったことが何個もあり知ることができました。

取材にご協力いただいた図書係の方々、専攻科生の方々にこの場を借りて感謝申し上げます。

(5C 川越 匠真)

編集後記なんて、誰が読むんですかね…。作った人の感想なんて読んで何が

楽しいんでしょうか…。そんなこと言ったら、書いてくれた他のメンバーにも、これ読んでるあなたにも失礼ですよ。反省してます。

とはいえ、編集後記担当だったので、編集後記の編集後記とはいったい何を書けばよいものか、と絶賛悩み中なのです。まあ、夏号なので、夏っぽいなかを書いておきましょう。

今号の途中にある、夏のおすすめ本を考えていてふと思ったことが一つ。

「夏」ってかわいそすぎではないかと。

どうしたことかって？ ほら、あれですよ。

君を好きになってしまったのも、想いに任せて走り出してしまったのも、君を困らせてしまったのも、全部夏のせい。

いやいや、自分のせいやろ。何夏のせいにしてんねん。

全部自分が勝手にやったことやん。夏のせいちゃうわ。

はっ、しまった。つい癖が。

もちろん、「暑くて死にそう。」とか、「ムシムシして何もやる気が起きない。」とかは、夏のせいにしていいと思いますよ。だって夏のせいだから。暑いもん。

でも、好きになったのは自分のせい。結果がどうあれ自分のせい。夏なんも悪くない。

ということでね。みなさま、この夏は、なんでもかんでも夏のせいにするのはやめましょう。全部夏のせいにする系の J-POP も聞くんのはやめましょう。

STOP、夏イジメ。

あくまでも個人の感想なので、異論はみとめません。

みなさまは夏、かわいそうだと思いますか？

(5E 森川 柊作)